

[平成19年度設置]

## 森ノ宮医療大学

### 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 森ノ宮医療学園  
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウムシツシツチョウ ナリタタクトモ  
総務室室長 成田丈朋

電話番号 06-6616-6911

（夜間） 06-6616-6911

F A X 06-6616-6912

e-mail narita@morinomiya-u.ac.jp

## 目 次

1 調査対象大学等の概要等	……	1
2 授業科目の概要	……	5
3 施設・設備の整備状況、経費	……	13
4 既設大学等の状況	……	15
5 教員組織の状況	……	17
6 留意事項に対する履行状況等	……	33
7 その他全般的事項	……	35

# 大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

学校法人 森ノ宮医療学園

### (2) 大学名

森ノ宮医療大学

### (3) 大学の位置

大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号

### (4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	モリ シュンゴウ 森 俊豪 (平成13年4月1日)		
学長	ヒロハシ ケンジ 廣橋賢次 (平成19年4月1日)		
学部長	ナカムラ タツゾウ 中村 辰三 (平成19年4月1日)		
学科長	ヤマシタ ヒトシ 山下 仁 (平成19年4月1日)		
学科長	カナオ ケンロウ 金尾 顕郎 (平成19年4月1日)		

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 鍼灸学科 学士(鍼灸学)	4年	60人	0人	240人	
理学療法学科 学士(理学療法学)	4年	60人	0人	240人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員		120人	(-)人 120	( )人	( )人	1.18倍	
志願者数		1091	(-)人 894	( )	( )		
受験者数		1059	(-)人 875	( )	( )		
合格者数		177	(-)人 164	( )	( )		
B 入学者数		153	(-)人 132	( )	( )		
入学定員超過率 B/A		1.27	(-)人 1.10	( )	( )		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
1年次		[ 0 ] 153	[ 0 ] 143	[ ]	[ ]	
2年次		/	[ 0 ] 136	[ ]	[ ]	
3年次		/	/	[ ]	[ ]	
4年次		/	/	/	[ ]	
計		[ 0 ] 153	[ 0 ] 279	[ ]	[ ]	

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

【鍼灸学科】

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A	入学定員	60人	(-) 60人	( ) 人	( ) 人	1.16倍	
	志願者数	210	(-) 185	( )	( )		
	受験者数	200	(-) 184	( )	( )		
	合格者数	91	(-) 81	( )	( )		
B	入学者数	75	(-) 64	( )	( )		
	入学定員超過率 B/A	1.25	(-) 1.07	( )	( )		

【理学療法学科】

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A	入学定員	60人	(-) 60人	( ) 人	( ) 人	1.21倍	
	志願者数	881	(-) 709	( )	( )		
	受験者数	859	(-) 691	( )	( )		
	合格者数	86	(-) 83	( )	( )		
B	入学者数	78	(-) 68	( )	( )		
	入学定員超過率 B/A	1.3	(-) 1.13	( )	( )		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

【鍼灸学科】

学年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次		[ 0 ] 75	[ 0 ] 75	[ ]	[ ]	
2年次			[ 0 ] 61	[ ]	[ ]	
3年次				[ ]	[ ]	
4年次					[ ]	
計		[ 0 ] 75	[ 0 ] 136	[ ]	[ ]	

【理学療法学科】

学年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次		[ 0 ] 78	[ 0 ] 68	[ ]	[ ]	
2年次			[ 0 ] 75	[ ]	[ ]	
3年次				[ ]	[ ]	
4年次					[ ]	
計		[ 0 ] 78	[ 0 ] 143	[ ]	[ ]	

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

【鍼灸学科】

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ 3 ]	計 [ 75 ]	[ 4.0% ]
	うち平成19年度入学者 3人	うち平成19年度 75人	4.0%
	(主な退学理由) 2名 就学意欲の低下 1名 学力不足		
平成20年度	計 [ 0 ]	計 [139人]	[ % ]
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 75人	%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 64人	%
(主な退学理由)			
平成21年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	%
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度入学者 人	%
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度入学者 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度入学者 人	%
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度入学者 人	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度入学者 人	%
(主な退学理由)			

【理学療法学科】

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ 3 ]	計 [ 78 ]	[ 3.8% ]
	うち平成19年度入学者 3人	うち平成19年度 78人	3.8%
	(主な退学理由) 1名 除籍 (学生個人の心身に関する事情及び学納金不払いによる) 1名 就学意欲の低下 1名 学力不足		
平成20年度	計 [ 0 ]	計 [146人]	[ 0% ]
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 78人	0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 68人	0%
(主な退学理由)			
平成21年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	%
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度入学者 人	%
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度入学者 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度入学者 人	%
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度入学者 人	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度入学者 人	%
(主な退学理由)			

(5) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ 0 ]	計 [ 0 ]	[ 0%] 3.3%
	うち平成19年度入学者 6人	うち平成19年度 153人	
	(主な退学理由) 1名 除籍(学生個人の心身に関する事情及び学納金不払いによる) 3名 就学意欲の低下 2名 学力不足		
平成20年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度入学者 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度入学者 人	
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度入学者 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度入学者 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度入学者 人	
(主な退学理由)			

## 2. 授業科目の概要

<保健医療学部 鍼灸学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎ゼミナール	1	2			5	<del>2</del> 3	5	2	2	教育体制の充実を図るため、教員を追加⑩ (担当 坂本豊次(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定可
学習方法論	1	2								
生物学	1	2								
情報処理	3	2								
物理学概論	1		2							
生化学	2		2							
食品栄養学	2		2							
統計学	3		2							
小計(8科目)	-	8	8	0	5	<del>2</del> 3	5	2	2	教員増加により小計変更⑩
生命倫理学	1	2			1					
社会福祉学	2	2								
哲学	1		2							
心理学	1		2							
東洋思想論	1		2							
宗教学	1		2		1					
東洋史学	1		2							
社会学	2		2							
法学概論	2		2							
小計(9科目)	-	4	14	0	1	0	0	0	0	
英語Ⅰ(初級)	1	2					1			
英語Ⅱ(中級)	1	1					1			
英語Ⅲ(応用)	2		1				1			
医学英語	2		2							
英会話Ⅰ(初級)	3		1							
英会話Ⅱ(中級)	3		1							
健康スポーツ科学	2	2								
体カトレーニング科学演習	1	1								
スポーツ実習	1	1								
小計(9科目)	-	7	5	0	0	0	1	0	0	
公衆衛生学	1	1								
チーム医療論	2	1								
保健医療研究法	3	1			2					
リスクマネジメント論	3	1								
統合医療学	3	1								
伝統医学概論	4	1			1					
公益法人のマーケティング	2		1				1			
医療コミュニケーション論	3		1							
小計(8科目)	-	6	2	0	3	0	1	0	0	
人体の構造Ⅰ(運動器系)	1	2								
人体の構造Ⅱ(循環・内臓系)	1	2								
人体の構造Ⅲ(神経・感覚器系)	1	2			1					
人体の構造実習	2	1								
人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1	2			1					
人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1	2								
人体の機能実習	2	1								
基礎運動学	2	1								
小計(8科目)	-	13	0	0	2	0	0	0	0	

一般科目

## 2. 授業科目の概要

<保健医療学部 鍼灸学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
感染管理学	1	1								
疾病の病因と病態総論	2	2								
疾病の病因と病態各論	3	1						1		
疾病の病因と病態実習	3	1								
内科学Ⅰ(総論・循環・呼吸・代謝)	2	1								
内科学Ⅱ(消化・泌尿・免疫・小児科)	2	1								
神経内科学	2	1								
脳神経外科学	2	1								
整形外科学	2	1								
整形外科診断学	2	1								
感覚器の医学	3	1								
外科学	3	1								
心と体の発達の医学	4	1								
リハビリテーション総論	3	1								
リハビリテーション各論	3	1								
スポーツ医学	3	1								
老年医学	3	1								
小計(17科目)	-	18	0	0	0	0	0	1	0	
基礎はり実技Ⅰ	1	1				1	1			2
基礎はり実技Ⅱ	1	1				1	1			2
基礎きゅう実技Ⅰ	1	1			1			1		2
基礎きゅう実技Ⅱ	1	1			1			1		2
経絡経穴学概論	1	1				1				
基礎経絡経穴学演習	1	1				1				
東洋医学概論	1	1			1					
経穴局所解剖	2	1				+				
応用経絡経穴学演習	2	1				1				
基礎鍼灸学	2	2					1			
小計(10科目)	-	11	0	0	1	-	2	1	2	教員増加により小計変更⑩
東洋医学各論	2	2			1					
現代医学系評価学	2	1					1			
東洋医学系評価学	2	1			1					
鍼灸診断治療学Ⅰ(運動器・神経系領域)	2	2				+				教育体制の充実を図るため、教員を追加⑩ (担当 坂本豊次(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
鍼灸診断治療学Ⅱ(内科領域)	3	2			1					
鍼灸診断治療学Ⅲ(東洋医学領域)	3	2								
鍼灸診断治療学Ⅳ(各科領域)	3	1			1					
鍼灸症候学	3	2				+				教育体制の充実を図るため、教員を追加⑩ (担当 坂本豊次(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
鍼灸健康学	3	1			1					
鍼灸老年学	3	1								
鍼灸婦人小児科学	4	1								
鍼灸免疫学	4	1					1			
小計(12科目)	-	17	0	0	3	+	2	0	0	教員増加により小計変更⑩

専門科目

## 2. 授業科目の概要

<保健医療学部 鍼灸学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会鍼灸学	1	1					1			教育体制の充実を図るため、教員を追加⑩ 担当 坂本豊次(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
応用鍼灸治療学	3	1								
特殊鍼灸治療学	3	1								
スポーツ鍼灸学総論	3	1					1			
スポーツ鍼灸学各論	3	1					1			
介護学概論	4	1								
鍼灸科学概論	4	1			1					
鍼灸医学演習Ⅰ	4	2				1 2				
鍼灸医学演習Ⅱ	4	1			1					
鍼灸医学演習Ⅲ	4	1			1					
鍼灸医学演習Ⅳ	4	1			1					
老年ケア演習	4	1								
画像診断学	4	1								
ケアマネジメント論	4	1								
関係法規	4	1								
応用鍼灸治療学実習Ⅰ	4		1							
応用鍼灸治療学実習Ⅱ	4		1							
応用鍼灸治療学実習Ⅲ	4		1							
応用鍼灸治療学実習Ⅳ	4		1							
小計(19科目)	-	16	4	0	3	1 2	2	0	0	
卒業研究	3~4	4			5	1 3	3	1		教育体制の充実を図るため、教員を追加⑩ 担当 坂本豊次(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
小計(1科目)	-	4	0	0	5	1 3	3	1	0	教員増加により小計変更⑩
附属施設所見学実習	2	1			1		1		3	
附属施設所基礎実習	3	2			1		1		3	
附属施設所応用実習	4	2			1		1		3	
学外見学実習	4	1			1		1		3	
小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	1	0	3	

専門科目

(2)授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
84	21	0	105					

(3)未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4)廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5)授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(6)「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

該当なし

## 2. 授業科目の概要

<保健医療学部 理学療法学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎ゼミナール	1	2			8	4	<del>1</del> 2	2	2	教育体制の充実を図るため、教員を追加⑳ (担当 前田薫(講師) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
学習方法論	1	2								
生物学	1	2								
情報処理	3	2								
物理学概論	1		2							
生化学	2		2			1				
食品栄養学	2		2			1				
統計学	3		2							
小計(8科目)	-	8	8	0	8	4	<del>1</del> 2	2	2	教員増加により小計変更⑳
生命倫理学	1	2								
社会福祉学	2	2								
哲学	1		2		1					
心理学	1		2							
東洋思想論	1		2		1					
宗教学	1		2							
東洋史学	1		2		1					
社会学	2		2							
法学概論	2		2							
小計(9科目)	-	4	14	0	1	0	0	0	0	
英語 I(初級)	1	2								
英語 II(中級)	1	1								
英語 III(応用)	2		1							
医学英語	2		2							
英会話 I(初級)	3		1							
英会話 II(中級)	3		1							
健康スポーツ科学	2	2			1					
体カトレーニング科学演習	1	1			1				2	
スポーツ実習	1	1			1				2	
小計(9科目)	-	7	5	0	1	0	0	0	2	
公衆衛生学	1	1								教育体制の充実を図るため、教員を追加⑳ (担当 前田薫(講師) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
チーム医療論	2	1								
保健医療研究法	3	1			1		<del>0</del> 1			
リスクマネジメント論	3	1								
統合医療学	3	1								
伝統医学概論	4	1								
公益法人のマーケティング	2		1							
医療コミュニケーション論	3		1							
小計(8科目)	-	6	2	0	1	0	<del>0</del> 1	0	0	

一般科目

## 2. 授業科目の概要

<保健医療学部 理学療法学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	人体の構造Ⅰ(運動器系)	1	2							教育体制の充実を図るため、教員を追加② (担当 森谷正之(教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可	
	人体の構造Ⅱ(循環・内臓系)	1	2		0	1					
	人体の構造Ⅲ(神経・感覚器系)	1	2								
	人体の構造実習	2	1		1						
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1	2								
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1	2								
	人体の機能実習	2	1								
	基礎運動学	2	1		1						
	臨床運動学	2	1		1						
	人間発達学	2	1								
小計(10科目)	-	15	0	0	3	0	0	0	0		
専門科目	リハビリテーション概論	1	1		1					教育体制の充実を図るため、教員を追加② (担当 前田薫(講師) 平成20年1月 教員審査済 判定 可	
	疾病の病因と病態総論	2	2								
	総合評価学	2	1								
	内科学Ⅰ(総論・循環・呼吸・代謝)	2	1		1						
	内科学Ⅱ(消化・泌尿・免疫・小児科)	2	1		1						
	神経内科学	2	1								
	救急処置法	2	1								
	脳神経外科学	2	1								
	整形外科学	2	1		1						
	精神医学	2	1				1				
	臨床心理学	2	1								
	リハビリテーション医学	3	1		1						
	老年医学	3	1		1						
	作業療法概論	2		1							
	言語聴覚療法概論	2		1							
	介護学概論	3		1				1			
	スポーツ医学	3		1							
	芸術療法論・レクリエーション論	4		1							
	小計(18科目)	-	14	5	0	2	0	2	0		0
	理学療法概論	1	1				1				
	運動器系理学療法セミナー	4	1			1					
	神経系理学療法セミナー	4	1				1		1		
	内科系理学療法セミナー	4	1			1			1		
	医療関係法規論	4	1								
	小計(5科目)	-	5	0	0	2	2	0	1		1
	理学療法評価学総論	1	1				1				
	理学療法評価学各論	2	2				1				1
運動器系評価学	2	1						1			
神経系評価学	2	1				1		1			
内科系評価学	2	1			1						
小計(5科目)	-	6	0	0	1	2	0	2	1		
日常生活用具学	1	1				1					
基礎運動療法学	1~2	2			1	1					
基礎物理療法学	1~2	2				1			1		
基礎日常生活活動学	1	1				1		1			
専門科目	運動器系理学療法学	3	2				0			教育体制の充実を図るため、教員を追加② (担当 前田薫(講師) 平成20年1月 教員審査済 判定 可	
	運動器系理学療法学技術論	3	1		1			1	1		
	神経系理学療法学	3	2				1		1		
	神経系理学療法学技術論	3	1				1				
	内科系理学療法学	3	2			1					
	内科系理学療法学技術論	3	1			1			1		
	発達障害理学療法学	3	1				1				
	義肢装具学	3	1								
テーピング技術論	2		1								

## 2. 授業科目の概要

<保健医療学部 理学療法学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
摂食・嚥下障害学	3		1							
理学療法特論Ⅰ(脳・脊髄疾患)	4		1		1			2		
理学療法特論Ⅱ(内科・循環器疾患)	4		1		1			2		
小計(16科目)	-	17	4	0	3	3	<del>0</del> 1	2	1	教員増加により小計変更⑩
ボランティア活動論	1	1					1			
地域理学療法学	2	1					1			
生活環境論	3	2					1			
小計(3科目)	-	4	0	0	0	0	1	0	0	
卒業研究	3~4	4			8	4	<del>1</del> 2	2		教育体制の充実を図るため、教員を追加⑩ (担当 前田薫(講師) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
小計(1科目)	-	4	0	0	8	4	<del>1</del> 2	2	0	教員増加により小計変更⑩
臨床見学実習	2	1			2	3	1	2		
臨床評価実習	3	3			2	3	1	2		
臨床総合実習Ⅰ	4	8			2	3	1	2		
臨床総合実習Ⅱ	4	8			2	3	1	2		
小計(4科目)		20	0	0	2	3	1	2	0	

専門科目

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
70	26	0	96					

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

該当なし

### 3 施設・設備の整備状況、経費

(コスモキャンパス)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	特例措置の認定により 運動場機能の代替措置 を講じる			
	校舎敷地	7,332.31㎡	㎡	㎡	7,332.31㎡				
	運動場用地	-㎡	-㎡	-㎡	-㎡				
	小 計	7,332.31㎡	㎡	㎡	7,332.31㎡				
	そ の 他	㎡	㎡	㎡	㎡				
	合 計	7,332.31㎡	㎡	㎡	7,332.31㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		6,822.49㎡ (6,822.49㎡)	㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)	6,822.49㎡ (6,822.49㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		17室	4室	13室	1室 (補助職員-人)	1室 (補助職員-人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		別途1室、学科共同研究室 を設けている		
		保健医療学部 鍼灸学科			12 室				
		保健医療学部 理学療法学科			12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専門学校図書室所蔵の 書籍2,689冊を転用	
	保健医療学部	6,589 [400] (5,289 [300])	60 [12] (60 [12])	2 [-] (2 [-])	15 (15)	519 (307)	61 (61)		
	計	6,589 [400] (5,289 [300])	60 [12] (60 [12])	2 [-] (2 [-])	15 (15)	519 (307)	61 (61)		
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		346.2㎡		90席	51,660冊				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		489.51㎡		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル データベースを含む
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	20,000千円	10,000千円	5,000千円	
		共同研究費等	15,000千円	15,000千円	設備購入費	224,334千円	49,822千円	5,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	鍼灸学科	2,000千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	該当なし	該当なし		
	理学療法学科	1,880千円	1,530千円	1,530千円	1,530千円	該当なし	該当なし		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入等						

### 3 施設・設備の整備状況、経費

(森ノ宮キャンパス)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	特例措置の認定により 運動場機能の代替措置 を講じる		
	校舎敷地	1,329.40㎡	㎡	㎡	1,329.40㎡			
	運動場用地	-㎡	-㎡	-㎡	-㎡			
	小 計	1,329.40㎡	㎡	㎡	1,329.40㎡			
	そ の 他	㎡	㎡	㎡	㎡			
	合 計	1,329.40㎡	㎡	㎡	1,329.40㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		198.76㎡ (198.76㎡)	㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)	198.76㎡ (198.76㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 一室	演 習 室 一室	実験実習室 一室	情報処理学習施設 一室 (補助職員-人)	語学学習施設 一室 (補助職員-人) 臨床実習時の待機する ための部屋を設けている		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		保健医療学部 鍼灸学科		0 室				
		保健医療学部 理学療法学科		0 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
(6) 図 書 館		面 積 ㎡	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			臨床実習のための施設の ため、図書等の設備はない	
(7) 体 育 館		面 積 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費 の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等			図書購入費			
		共同研究費等			設備購入費			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	鍼灸学科							
	理学療法学科							
学生納付金以外の維持方法の概要								

4 既設大学等の状況

該当なし

大学の名称		〇〇大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 定 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地			
	年	人	年次 人	人		倍					
大学の名称		〇〇短期大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 定 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地			
	年	人	年次 人	人		倍					

## 5 教員組織の状況

<保健医療学部 鍼灸学科>

### (2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	2	5	2	16	4	7	3	5	2	17	4	教育体制の充実を図るため、教員を新規就任
(6)	(1)	(4)	(2)	(14)	(3)	[ ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]	[ 1 ]	[ ]	

### (3) 専任教員交代の理由

該当なし

### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

## 5 教員組織の状況

<保健医療学部 理学療法学科>

### (2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
8	4	2	2	16	3	8	4	3	2	17	3	教育体制の充実を図るため、教員を新規就任
(5)	(3)	(1)	(2)	(11)	(3)	[ ]	[ ]	[ 1 ]	[ ]	[ 1 ]	[ ]	

### (3) 専任教員交代の理由

該当なし

### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成18年11月30日)</p>	<p>・設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画書を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行い、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・開設時には視覚障害者の入学を考慮し、点字図書、録音図書などの教材を整備すること。(鍼灸学科)</p>	<p>本学は、多様化する社会構造の変化に即応するために、保健医療分野として鍼灸師、理学療法士のさらなる資質向上を図ることが必要であり、この分野における優れた指導的人材の養成が使命である。さらに本学の目的は、伝統医学と現代医学の補完と融和を通じて、幅広い知識と高度な専門技術を有し、豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人を育成することであり、その目的を達成するための教職員を積極的に集め、施設設備の充実に傾注しているところである。</p> <p>今後、大学設立の理念である、医学・医療の発展に寄与し、貢献し教養と識見を備えた人材を育成する大学として社会的にも幅広く認知され、機能することを目標にFDを積極的に実行し、優れた教育成果の具現化を教育活動の中心に据え、また、健康管理や術後の身体的な機能回復の優れた医療技術である、鍼灸、理学療法について効果を科学的に評価し、より良い治療法を創出するための研究を実行するよう、継続的に大学組織全体で取り組んでいるところである。<sup>⑱</sup></p> <p>平成19年度、数名の教員が外部資金による研究を行ったことに伴い、研究支援室の設置、動物実験室の稼働準備等、研究支援のためのハード的枠組みを構築しはじめた。今後はハード的な部分だけでなく各教員の能力の維持向上の支援を検討している。</p> <p>教員の研究能力の向上のため、希望する教員へは大学院の進学や病院への派遣等を積極的に推し進めると同時に勤務体制に便宜を図っている。</p> <p>また、動物実験の最新情報と状況の理解のためFDを通じて研修に努める予定である。</p> <p>教育については、平成19年8月に大学コンソーシアム大阪に加入した。今年度より、単位互換を行うことを予定するとともに、教員免許更新制度等コンソーシアムで行う事業に積極的に参加し、他大学と連携を深めていくことを積極的に導入する計画である。</p> <p>地域連携については平成19年度に引き続き、共同活動や連携できる分野を充実させるため、スポーツメーカーやホテル等の企業、地域にあるコスモスクエア開発協議会等の団体とともに交流を図っている。<sup>⑳</sup></p> <p>鍼灸学科への視覚障害者の入学を考慮し、附属図書館に点字図書教材を整備している。また、今後は実際に視覚障害者が入学した際には、最新の支援用具の導入を視野に入れる方向で準備している。<sup>⑱⑳</sup></p>	
<p>設置計画履行状況</p> <p>調 査 時</p> <p>(平成19年10月15日)</p>	<p>・FD委員会を計画通り開催するとともに、授業評価アンケートの組織的な実施、その結果の効果的なフィードバックを含め、ファカルティ・ディベロップメント(授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究)の一層の推進に努めること。</p> <p>・森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	<p>大学設置前から設置後まで、研究体制の向上に向けて、研究についての情報交流と意見交換会等を開催している。また、FD委員会は大学設立当初から設置されていた。しかしながら、本格的なFD活動は充分とは言えなかった。開学1年経過し、授業アンケート等により情報が蓄積されたことを踏まえて、平成19年12月にFD委員会を開催した。また、人権問題委員会との共催によるハラスメントの研修会を開催し、教員の基本的な学生への接し方や指導について組織的研修を実施した。今後、これまでの研究活動に関するFDに加え、本来の教育に関するFDも導入し、教員の教育活動の資質向上に努めていく。まずは平成20年4月17日にFD等の重要性および各科目のあり方や理念・目的=教育目標=教育課程=授業計画=成績評価の関連性についての説明を全教員を対象に行った。</p> <p>平成19年度に実施した授業評価アンケートについては、集計結果と自由意見を担当教員に配布すると同時にアンケート結果に対する所見(リフレクションペーパー)を各教員に求めた。授業評価アンケートからは板書技法等に対する改善要望が出され、リフレクションペーパーからは板書等の改善意向が見られた。今後、授業アンケート等を踏まえ、組織的に各教員の授業内容が向上するよう計画を実施していく予定である。また毎月1回程度のFDセミナーを開催し、両学科とも理念・目的=教育目標=教育課程=授業計画=成績評価が現在の授業運営で関連しているかを検討することを継続したFDとしていきたい。<sup>⑳</sup></p> <p>入学定員超過については、平成20年度入学試験では合格者と実際の入学手続き進行状況を詳細に観察し、分析、選抜を行った。その結果、最終的には入学手続き者が定員を若干上回ってしまったが、定員超過による教育環境の悪化については最小限に抑えられたと考える。<sup>⑳</sup></p>	

## 7 その他全般的事項

<保健医療学部 鍼灸学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>教員編成の考え方及び特色</p> <p>入学から卒業、さらに卒業後に至るまで、学生生活全般に関わる教員を配置し、生活支援を行うとともに、学生と教員間の意思疎通を円滑にする。</p>	<p>入試だけでなく就職支援も視野にいれた学生支援組織のエンロールメントマネジメント委員会を発足させ、入学前から継続した学生支援を実践している。特に入学前の事前教育を入学前学習として、専門教育の動機付けとなる授業および課題を行った。また、初年時教育として「基礎ゼミナール」、「学習方法論」では、新入生の学習方法の理解や基礎学力の向上を目的とした学習内容の実施をしている。さらに学生本人にとどまらず、その保護者へも大学の取組みを保護者説明会として入試時等に行い理解を求めている。</p>

## 7 その他全般的事項

<保健医療学部 理学療法学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>教員編成の考え方及び特色</p> <p>入学から卒業、さらに卒業後に至るまで、学生生活全般に関わる教員を配置し、生活支援を行うとともに、学生と教員間の意思疎通を円滑にする。</p>	<p>入試だけでなく就職支援も視野にいれた学生支援組織のエンロールメントマネジメント委員会を発足させ、入学前から継続した学生支援を実践している。特に入学前の事前教育を入学前学習として、専門教育の動機付けとなる授業および課題を行った。また、初年時教育として「基礎ゼミナール」、「学習方法論」では、新入生の学習方法の理解や基礎学力の向上を目的とした学習内容の実施をしている。さらに学生本人にとどまらず、その保護者へも大学の取組みを保護者説明会として入試時等に行い理解を求めている。</p>

## 7 その他全般的事項

<保健医療学部 鍼灸学科>

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況 ※規程別添

FD委員会  
人権委員会  
自己点検・評価委員会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

○自己点検・評価委員会

第1回：平成19年10月4日（参加8名、欠席3名）、第2回：平成19年12月14日（参加8名、欠席3名）  
第3回：平成20年1月10日（参加8名、欠席3名）、第4回：平成20年3月11日（参加8名、欠席3名）

○FD委員会

第1回：平成19年12月13日（参加8名、欠席0名）、第2回：平成20年3月6日（参加7名、欠席1名）

○人権委員会

第1回：平成19年9月6日（参加5名、欠席4名）、

##### c 委員会の審議事項等

○自己点検・評価委員会

第1回：規程と委員選出、授業アンケート結果、自己点検評価項目、第三者認証評価機関  
第2回：20年度予算、前期アンケート結果のフィードバック、後期アンケート、自己点検作成に向けて  
第3回：FD委員会との連携  
第4回：年報作成について

○FD委員会

第1回：規程と委員選出、自己点検・評価委員会との連携、外部講師招聘、教員活動内容  
第2回：委員会規程、委員長選出、FD活動記録の確認、今後のFD計画

#### ② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

##### a 実施内容

○自己点検・評価委員会

授業評価アンケート  
授業評価アンケート結果の開示  
アンケート結果のフィードバックと教員からのリフレクションペーパーの回答

○FD委員会・人権委員会

第1回FD・人権セミナー開催：「大学における人権問題と防止」（平成19年12月6日）  
第2回FD・人権セミナー開催：「すべての教育の根底に人権の視点を」（平成20年3月19日）

○FD委員会

平成20年度 第1回FD開催：「FDの重要性と必要性について」（平成20年4月17日）

○その他

外部団体へのセミナー：「近畿地区メンタルヘルス研究協議会」（平成19年10月3日）

##### b 実施方法

○第1回FD・人権セミナー：外部講師（兼任講師・徳島大学教授 北村清一郎氏）を招聘し、学内研修を実施  
○第2回FD・人権セミナー：外部講師（人権教員推進協議会 牧野統治氏）を招聘し、学内研修を実施

○平成20年度 第1回FDセミナー：専任教員（小島講師）によるFDの概要説明

○外部団体セミナーへの自主的な参加

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

第1回FD・人権セミナー：参加25名

第2回FD・人権セミナー：参加16名

平成20年度 第1回FDセミナー：参加20名

平成19年度近畿地区メンタルヘルス研究協議会「全入時代とキャンパスライフ」：参加1名

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケートの結果を担当教員に配布すると同時に学生からの改善要望点を示した。

## 7 その他全般的事項

<保健医療学部 理学療法学科>

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況 ※規程別添

FD委員会  
人権委員会  
自己点検・評価委員会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

○自己点検・評価委員会

第1回：平成19年10月4日（参加8名、欠席3名）、第2回：平成19年12月14日（参加8名、欠席3名）  
第3回：平成20年1月10日（参加8名、欠席3名）、第4回：平成20年3月11日（参加8名、欠席3名）

○FD委員会

第1回：平成19年12月13日（参加8名、欠席0名）、第2回：平成20年3月6日（参加7名、欠席1名）

○人権委員会

第1回：平成19年9月6日（参加5名、欠席4名）、

##### c 委員会の審議事項等

○自己点検・評価委員会

第1回：規程と委員選出、授業アンケート結果、自己点検評価項目、第三者認証評価機関  
第2回：20年度予算、前期アンケート結果のフィードバック、後期アンケート、自己点検作成に向けて  
第3回：FD委員会との連携  
第4回：年報作成について

○FD委員会

第1回：規程と委員選出、自己点検・評価委員会との連携、外部講師招聘、教員活動内容  
第2回：委員会規程、委員長選出、FD活動記録の確認、今後のFD計画

#### ② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

##### a 実施内容

○自己点検・評価委員会

授業評価アンケート

授業評価アンケート結果の開示

アンケート結果のフィードバックと教員からのリフレクションペーパーの回答

○FD委員会・人権委員会

第1回FD・人権セミナー開催：「大学における人権問題と防止」（平成19年12月6日）

第2回FD・人権セミナー開催：「すべての教育の根底に人権の視点を」（平成20年3月19日）

○FD委員会

平成20年度 第1回FD開催：「FDの重要性と必要性について」（平成20年4月17日）

○その他

外部団体へのセミナー：「近畿地区メンタルヘルス研究協議会」（平成19年10月3日）

##### b 実施方法

○第1回FD・人権セミナー：外部講師（兼任講師・徳島大学教授 北村清一郎氏）を招聘し、学内研修を実施

○第2回FD・人権セミナー：外部講師（人権教員推進協議会 牧野統治氏）を招聘し、学内研修を実施

○平成20年度 第1回FDセミナー：専任教員（小島講師）によるFDの概要説明

○外部団体セミナーへの自主的な参加

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

第1回FD・人権セミナー：参加25名

第2回FD・人権セミナー：参加16名

平成20年度 第1回FDセミナー：参加20名

平成19年度近畿地区メンタルヘルス研究協議会「全入時代とキャンパスライフ」：参加1名

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケートの結果を担当教員に配布すると同時に学生からの改善要望点を示した。

## 7 その他全般的事項

<保健医療学部 鍼灸学科>

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成23年6月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業(5社)及び希望があった学生(150名)に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定(平成23年8月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度までに認証評価機関(財団法人 日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、当該機関に加入手続き中である。また、評価項目にそって、自己点検を実施するよう自己点検・評価委員会内で検討している。

## 7 その他全般的事項

<保健医療学部 理学療法学科>

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成23年6月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業(5社)及び希望があった学生(150名)に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定(平成23年8月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度までに認証評価機関(財団法人 日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、当該機関に加入手続き中である。また、評価項目にそって、自己点検を実施するよう自己点検・評価委員会内で検討している。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成19年11月1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.morinomiya-u.ac.jp/info/information.html>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年11月1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.> )  未定